

第2学年 英語科学習指導案

令和2年11月2日(月) 4校時
名護市立大宮中学校2年3組31名
授業者：城間あき子 Mark J. Dimacali

【年間指導計画の位置づけ 第2学年 11月計画】

1 単元名

Unit6 *Rakugo* in English (New Horizon English Course 2 東京書籍)

2 単元目標

○パンフレットやポスター，まとまりのある文章を様々な工夫をして読み続ける。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

○まとまりのある英文を，目的に応じて読む。

【外国語理解の能力】

○There is / are, 動名詞を用いた文構造を理解する。

【言語や文化についての知識・理解】

3 単元について

(1) 教材観

本単元は、中学校学習指導要領（平成29年告示）の（1）に示す「外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解するとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるようにする。」の目標に向かう。特に読むことの領域 ア「日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものから必要な情報を読み取ることができるようにする。」について扱う。

言語材料は、**there is / are**，動名詞が扱われており，事物を説明するのに効果的に活用することができる。日本の伝統芸能である落語を取り上げ，英語落語が世界に広まりつつあることを紹介し，古典落語の英語版の楽しさに触れることのできる題材となっている。ポスターやパンフレットなどを読む活動の中で，生徒が主体となって，どんな情報を得るために読むのかを意識するなど，目的に応じて必要な情報を読み取ることができる力を身につけさせたい。

(2) 生徒観

中学2年生で取り扱われている教科書本文中の単語数が増え，本文内容を理解するのに時間がかかる生徒の姿が見られる。6月に実施された県学力定着状況調査「学びのたしかめ」では，「読むこと」の領域で，平均正答率が長文（まとまった分量の英語の文章について，おおまかな流れをつかむことができる）では67.0%（県64.2%），会話とグラフ（比較的長い英語の会話文を，グラフと照らし合わせて読むことができる）が37.4%（県39.0%），広告・ポスター（英語の広告・ポスターから，必要な情報を読み取ることができる）が62.6%（県71.1%）という結果であった。必要な情報を的確に読み取ることに課題が見られる。

また，生徒質問紙調査の「これまでの授業では，課題の解決に向けて，自分で考え，自分から取り組んでいたと思いますか」という項目において，25.0%の生徒が，「どちらかといえば当てはまらない，当てはまらない」と答えている。生徒が目的意識を明確にし，自分ごととして課題の解決に向かえるような取組が必要であると考えます。

現在，より生徒の身近な暮らしに関わる場面設定を意識した言語活動を行っている。単元を通じたスマールトークや帯活動においても，既習事項を取り入れ，より身近なトピックを扱うこと

で、伝え合いたくなるような場面を設定している。生徒が主体的に考え、言語活動に取り組むことにより「互いに伝え合う」ことへの価値意識を高めたい。

(3) 指導観

本単元では、相手に情報を伝える手段である広告やパンフレットなどから、「自分が必要とする情報」を読み取ることを目指す。書かれていることの全てを読み取ろうとするのではなく、「どのような情報を得るためにどう読めばいいのか」を生徒自身が考えながら取り組む。課題意識を持ち、自分の置かれた状況などから必要な事柄を判断し、情報を読み取る活動を行うことで、逐語的な読みから脱却し、「読むこと」に粘り強く取り組み、思考錯誤しながらも自力で読み続けようとする態度を育てたい。

教科書で扱われている落語ポスターやパンフレットに加え、帯活動では日常的な話題を取り上げることで、生徒が読み手として主体的に考えたり、判断したりしながら学習が進められるよう指導していきたい。Think&Read では、世界に広がる落語からの新たな発見や自国への気づきを楽しませたい。

また、単元づくりにおいて、領域統合的な言語活動を取り入れている。「読んだこと」を話したり、書いたりし伝え合うことを繰り返すことで、生徒自身に「主体的に学習に取り組む態度」が育まれると考える。

(4) 校内研修テーマとの関わり

本校校内研修テーマ： 「なすことによって学ぶ」 宮中特活 <誠実>
 ～本音で想いを伝え合う生徒の姿を育み 共に宮中文化を創造する活動の充実を通して～

英語落語に関する読み物教材を通して、日本文化に対する他者の考えを知ったり、自分の考えを伝えたりすることにより、自己有用感を高めながら、課題に対して自分事として向き合い合わせたい。また、特別活動の視点の一つである「人間関係形成」を目指し、他者との関わりを大切にし、互いに学び合っていこうとする姿を目指したい。

4 単元の評価規準

ア コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	イ 外国語表現の能力	ウ 外国語理解の能力	エ 言語や文化についての 知識・理解
パンフレットやポスター、まとまりのある文章を様々な工夫をして読み続けようとしている。	/	①ポスターやパンフレットから必要な情報を読み取っている。 ②落語や英語落語の特徴を理解し、概要を読み取っている。	There is / are, 動名詞を用いた文構造を理解している。

5 指導と評価の計画(10時間)

▲指導に生かす評価

★記録に残す評価

時間	ねらい・学習内容	評価規準	評価方法
1	<p>【単元の見通しをもつ】</p> <p>■There is (are).を使って、説明したり、たずねたりする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ small talk ・ There is (are)～.(肯定・疑問・否定)を用いて、施設や部屋にあるものについて表現する。 ・理想の自分の部屋を伝え合う。 		
2	<p>■落語講演ポスターから必要な情報を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帯活動 Reading H30 到達度⑩ ・本文を読み、必要な情報を読み取る。 (読み方のポイント学習) ・R1 到達度問題 	▲ウ①	ワークシート
3 本時	<p>■落語に必要な小道具等の情報を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ small talk ・本文の対話を読み、必要な情報を読み取る。 ・本文の続きとなるような初見の英文を読み、伝え合う。 	▲ウ②	行動観察
4	<p>■動名詞を使って、楽しかったことなどについて伝え合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帯活動 Bridge 活用 ・動名詞を用いて、昨日楽しんだことを伝える。 	▲エ	
5	<p>■パンフレットから、落語の海外への広まりについて必要な情報を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ small talk ・落語にとって、自分自身にとって“Laughter”は何かを考える。 ・別教材パンフレットを読む。 	▲ア ▲ウ①	ワークシート
6	<p>■動名詞を使って、自分の趣味や特技について伝える。</p> <p>※既習事項の動名詞の復習から、主語でも使用できることを導入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帯活動 Reading ・動名詞を用いて、興味があることを伝え合う。 	▲エ	行動観察
7	<p>■英語の落語小話を読んで、その内容を読み取る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ small talk ・本文の小話を読み、必要な情報を読み取る。Think1&2 ・ペアで音読をする。 	▲ウ②	ワークシート
8	<p>■日本文化の読み物を読んで、物語の構成を完成させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジグソーを用いて物語を読み、最後に物語の構成をホームグループで確認する。 	★ア ▲ウ②	活動観察
9	<p>■英語落語家へのインタビューの内容を捉える。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・帯活動 Reading ・英語落語家へのインタビューを聞き、要点を聞き取る。 	▲エ	

10	■単元テスト (英検 4 級ポスター文、学力検査問題等活用)	★ウ①② ★エ	
----	--	------------	--

6 本時の学習(3/10時間)

(1) 本時の目標

落語の特徴を理解し、小道具などの必要な情報を読み取る。【外国語理解の能力】

(2) 本時の評価規準

落語の特徴を理解し、小道具などの必要な情報を読み取っている。

(3) 本時の展開

過 程	学習内容 (活動)	指導上の留意点	評価と支援
導入 (8分)	1 挨拶		
	2 small talk	・本時の内容に繋がるような model talk から Small Talk へつなげる。	<共感的人間関係>
展 開 (35分)	3 めあての確認		
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 0 auto; width: 80%;"> Today's Aim : ジェイク先生の知らない「落語」の情報を集め、わかりやすく伝えよう。 </div>		
	4 <u>読むこと①</u> 本文の対話を読み、大まかな情報を読み取る。 (個人⇒全体)	・「落語についての情報を少しでも読み取ってみよう！」 ・気になる単語に線を引く。 ・内容をすべてとらえていなくても大丈夫だと伝える。	<自己決定> <共感的人間関係>
	5 新出単語の確認。		
	6 <u>読むこと②</u> 本文の対話を読み、落語の特徴に関する必要な情報を読み取る。 (個人⇒ペア⇒全体)		▲ウ② <自己決定> <自己存在感>
	7 音読練習を行う。 全体でのリピート音読	・内容整理のため音読をする。	
8 <u>読むこと③</u> 教科書本文の続きとなるような初見の英文 A・B を読み、ペアで伝え合う。(それぞれ異なる内容文)	・ in different ways がわからないので、その情報を得るために読む。	<自己決定> <共感的人間関係>	

終末 (7分)	9 ALTに落語で使われる小道具について説明をする。 10 まとめ 11 振り返り	・まとめの後に, small talk で行った内容に触れる。	<自己決定>
------------	---	------------------------------------	--------

(4) 授業と連動した「宿題」

Bridge p.8~9

(次時の帯活動に繋げる。次時で読んだ内容をもとに, ペアで会話をする。)

(5) 板書計画

<p>Today's Aim: ジェイク先生の知らない「落語」の情報を集め、 わかりやすく伝えよう。</p>		<p>まとめ: 小道具等の使い方等をより詳しく説明すると伝わりやすい。</p>
<p>Day: Monday Date: November 2nd</p>	<div style="border: 1px solid black; width: 100px; height: 100px; margin: 0 auto;"> <p>教科書本文</p> </div>	<p>one performer only a cushion different</p> <hr/> <hr/>

【参考資料】

- 中学校学習指導要領解説 外国語編 文部科学省 (平成20年・平成29年告示)
- 評価規準の作成, 評価方法等の工夫改善のための参考資料 中学校 外国語
国立教育政策研究所 教育課程研究センター (平成23年)
- 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料
中学校 外国語 国立教育政策研究所 教育課程研究センター (令和2年3月)
- 沖縄県学力向上推進5か年プラン・プロジェクトII 令和2年度版 沖縄県教育委員会
- 「問い」が生まれる授業サポートガイド 令和2年3月 沖縄県教育委員会